

第2回 安城市文化振興計画策定審議会（議事要旨）

日 時 令和7年9月19日（金）

午前10時30分から

午前11時30分まで

場 所 歴史博物館 講座室

- 1 市民憲章唱和
- 2 会長あいさつ
- 3 協議事項
 - （1）文化芸術を取り巻く社会潮流について【再協議】
 - （2）アクションプログラムに対する事業進捗について
 - （3）市民ニーズ等の調査結果について
 - （4）課題と施策について
 - （5）その他
- 4 その他

出席者

【委員】 森委員、品川委員、川崎委員、丸山委員、野口委員、花井委員、小山委員、高山委員、鈴木委員、藍原委員

【事務局】 加藤生涯学習部長、朝岡文化振興課長、平井文化振興課長補佐兼芸術文化係長、西島文化財係長、学芸係（後藤）、芸術文化係（谷村）、文化財係（鈴木）

議事全文

【会長あいさつ】

本日も安城市がこれからの時代にふさわしい文化振興計画になるよう、皆様の活発なご意見を頂戴できればと思います。

協議事項

(1) 文化芸術を取り巻く社会潮流について【再協議】

【委員】

この文章では文化芸術をあたかも効率・効果的にしていくように受け取られかねないため、再考いただきたい。

【事務局】

今後そういった部分をやはり付け加えていくかを事務局で検討させていただきます。

【委員】

見直し前の方が正直わかりやすかったと思うが、変更の理由を再度説明してほしい。

【事務局】

安城市第9次総合計画をベースに、5年前より先進技術が進歩していることを受けて言葉のアップデートを行いました。策定当時は、コロナ禍だったためデジタルとリアルの対比を具体的に記載していると考えています。現在においては、そこまで強調しなくてもよいのではないかと解釈し、提案しました。

(2) アクションプログラムに対する事業進捗について

【委員】

現在、楽器による音楽活動ができる施設を探すことに苦労している。他市では大型楽器が施設に置いてあるなど、練習できる場所が確保されている。計画としては概ね進捗どおりであることは間違いないが、中学校の部活動地域展開をふまえ、学校で練習時間が減った時、どうしていくのが気がかり。

【事務局】

多方面から様々なご要望をいただいております、できる限りのことを対応させていただきたいと考えています。各公民館においては昭林公民館がホールを有している施設ですが、他の地区公民館でも音楽活動ができるよう、今後の改修計画の中で進めていきたいと生涯学習課の方で検討をしております。

子どもたちが活動するにあたり、楽器が足りないという問題に対しても、学校教育課の方で不要な楽器を集めて、修繕してお貸しするなども検討しています。

【委員】

先日小学校へ伺った際に、生徒数は少ないが箏が22面ありました。他の学校では、他校から借りて行っていたが、学校によって楽器の偏りがあるかないかということと、学校で借りられる楽器がどれくらいあるか把握できていれば、アウトリーチが実施しやすくなると思う。

【事務局】

どこの学校にどれくらい使用していない楽器があるかを把握し、どのように活用するかは学校教育課と芸術文化係の方で協力しながら模索しており、ご理解いただければ幸いです。

【委員】

文化振興課がメインとなる劇場施設などがあれば、全てバラバラの状態からもう少し連携していけるのかなと感じるし、他課との連携の取組がもう少しできればいい。

(3) 市民ニーズ等の調査結果について

【委員】

芸術活動への意識は高いものの、参加している人は低い。様々な事業においてお客様に一方的に見せたり聞かせたりするというのでは、活動が低迷していくと感じている。もっと市民の方も参加できるような窓口を作っていけないといけない。安城文化協会としてはその役目を担ってことで、市民の方にとっても団体にとってもいい方向にいくのではないかと考えている。

(4) 課題と施策について

意見なし。

(5) その他

【委員】

文化芸術活動を考えた場合に、生涯学習課、文化振興課だけでそれができるのかと感じた。学校など多分野の方にどう届けるか。文化振興課だけの問題ではなく、全体の問題として扱う、具体的なチャンネルが欲しいのかなと思う。

【事務局】

もちろん、各分野と協議を重ねておりますことは前提ですが、生の声を聞いていただくということも検討をさせていただきたいと思いますし、ある程度かたまった段階で全体的に協議をする場もあります。

【委員】

ここで言うことではないがパブリックコメント制度についてもある程度できてから市民の意見を伺う点で反映が難しいのではと感じている。